

タイムス  
少年サッカー

# 開智が初の頂点に



ゴール前で激しい攻防を見せる選手たち(開智一諏訪)

第24回市民タイムス少年サッカー新人戦・カガミカップ(市民タイムス、松本市サッカー協会、カガミグループ協賛)は15日、松本平広域公園総合球技場アルウィンと芝生グラウンドで開かれ、準々決勝以上の8試合が

行われた。中信勢の開智サッカー少年団が、諏訪FCをPK戦で破って初優勝を飾った。

開智は平成11年の第14回大会以来の決勝進出で、前回大会で準優勝の諏訪と頂点を争った。時間内で決着がつかず、延長戦でも無得点のままPK戦に突入し、開智が5-4で勝利を収めた。

中信勢ではほかに、梓川FCが3位決定戦で昭和FCを下した。

決勝終了後に、アルウィンで閉会式があった。市民タイムスの三村精一常務があいさつし、「この大会は今後の皆さんを大きく成長させてくれると思う」と選手の健闘をたたえた。

(富田昇水)

【関連記事14面に】